

2017年  
9月10日

No.226

# さざなみ

〒520-2141  
大津市大江6丁目23-24

**さざなみネット**  
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
TEL・FAX 077-545-5154

## 第63回日本母親大会 in 岩手

# 憲法を必ず次世代に継ぐため行動しよう

東日本大震災から6年半。第63回日本母親大会が8月19日から20日、岩手県盛岡市内で開かれ、2日間で延べ1万700人が集いました。1日目は25のテーマで分科会が開かれ、多彩な企画。女性たちが声をあげ、動かしている歴史的な大会となりました。

さざなみネットから2人が参加しました。植木和美さんから感想をいただきました。

感想

「これが最後の大会になるかも」という先輩を誘って参加。バス乗車時間が12時間を越えましたが、さして疲れを感じずに盛岡に着きました。



特別企画「啄木・賢治と憲法を語る」  
小森陽一さんが講演

1日目の分科会は岩手出身の「啄木、賢治と憲法を語る」と題して小森陽一さんの特



全体会の模様

別講座に入った。参加者1507名、早めに着いたはずなのに会場は満員に、一緒に座る場所を探すのにウロウロ・・・、さすが日本大会です。

2日目の全体会、歓迎の挨拶に知事と市長がそろって来て下さったのは、日本母親大会が始まって以来初めてのこととアナウンス、割れんばかりの拍手が会場一杯に。運動交流では、岩手の母親運動が地域の要求と結んで進んでいることが、野党共闘が進むことにもつながっていると感じた。

記念講演は29歳のフォトジャーナリスト・安田菜津紀さんが「写真で伝える世界、東北の“今”」と題して行ないました。安田さんは、取材した、カンボジア、被災地陸前高田市、内戦のシリアで出会った人々を紹介しながら講演しました。

地雷で両足を失いながら、失意を乗り越え残った体の機能を使って木に登っ



記念講演をする安田菜津紀さん

て収穫するカンボジアの農民、津波の災害から「またじいちゃんの取った魚食いたい」という孫の言葉に励まされて海に戻った陸前高田の漁業者、そして、これらを忘れてはならないことを訴えました。そして、海外の取材で日本が9条を持つ国として信頼されていること、それを壊してはならないことを静かに伝えました。

大会で学ぶことは多いけれど時間が経つとほとんど忘れる・・・。日常に起こる出来事をわが身のことと感じる気持ちだけは、忘れないようにしたい。



風の盆 岩波 美智子さん 画



## 市民の会しが 8・27 憲法講演会 保守を含む広範な市民と野党の共同した大運動で「改憲の発議を阻もう」

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民の会しが8月27日、渡辺治・一橋大学名誉教授（九条の会事務局）を講師に迎え、大津市のコラボしが21で憲法講演会を開きました。130人が参加しました。

渡辺氏は、安倍首相の5月3日憲法記念日での改憲「提言」について、時期（2020年施行）、目的（9条改憲）、方法（自衛隊を書き加える）、方式（教育無償化条項などをセットで提案）を明確にしたことが特徴で、「市民と野党の共同がもたらした困難を打破して改憲を実行する狙いを持っている」と指摘。

公明党の持論であった9条「加憲」論と、維新の十八番、教育無償化をいきなり出してきたのは、公明党、維新の会を最初からがっちり抱き込み、来年6月の国会会期末までに改憲を発議しようという狙いと危険性を示し、「安倍首相が自らの手で改憲を実行するための切り札を切ってきた、戦後日本の進路をめぐる正念場がやってきた」と強調しました。

続いて、安倍改憲を阻むため、私たちは何をすればよいのか、4つの課題を訴えました。

- ①安倍改憲と同じ目的で進められている、辺野古新基地建設、高江の基地建設に反対する運動に、特に本土の運動が、改憲の先導実施に反対する見地からも取り組むこと。
- ②安倍改憲の困難をもたらし、安倍改憲に立ちあがる大きな力となっている戦争法廃止の共同、市民と野党の共同を、安倍改憲を阻む、一回りも二回りも大きな共同に発展させること。
- ③今すぐ、全国津々浦々で、安倍改憲、とりわけ9条加憲の狙いと危険性について、草の根から学習会を組織すること。その力で、すべての地域で「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の“全国統一署名”に取り組むこと。
- ④改憲と戦争法の発動によるアメリカの軍事行



動での加担は、決して日本の平和と安全を強化するものではないこと、それどころか逆にアジアの紛争を軍事的対立にエスカレートすることで、むしろ日本とアジアの平和を脅かすことを訴えること。そして、戦争法を廃止し、自衛隊の海外での武力行使と戦争加担はやめること、紛争を武力によらないで解決し、核兵器の使用、先制攻撃は行わない確約を東北アジアレベルで締結するよう政府がイニシアティブを発揮することこそ、アジアと日本の安全を前進させる道であり、その方向しかないことを訴えること。

最後に、保守を含む広範な市民と野党の共同した大運動で、「改憲の発議を阻もう」と呼びかけ、「市民の会が先頭になって欲しい」と期待を込めました。

間違いなく、改憲、是か非かの正念場がやってきた。安倍改憲を阻む決め手は、安倍改憲に反対する国民的共同の輪で、改憲発議をさせないことと、次の衆院選で改憲3分の2を崩し安倍首相を引きずり降ろすことだということが、よくわかった。私自身の人生、家族や子ども孫のためにもがんばりたい。

### 感想

お盆のころからスズムシが鳴き出した。初めは1・2匹が、か細く鳴いていたが、半月程経った今は、多くが競って鳴いている。

6月初めにスズムシを飼っている火鉢の中を見たら、水分を保つために入れておいた木炭の上に、白い長いひげのある蟻くらいの幼虫が動いているのを見つけた。それ以来世話をしてきた。

スズムシは、コオロギの仲間では体長が2cm前後の昆虫で、鳴くことができるのは雄のみで大きな4枚の翅をすり合わせて音を出す。雄は雌への求愛行動や縄張り主張の際に音を奏でる。

スズムシの鳴き声は、細かく鈴を振るようだというので鈴虫と言ひ、古くから「鳴く虫の王」と呼ばれている。雄の羽は幅が広く脈が発達しており、太い脈の一部はヤスリのようになっていて、羽を垂直に立てて細かく鳴き続ける。

スズムシの鳴き声を聞きながら風呂に入り、読書をして

### ひととき

お盆のころからスズムシが鳴き出した。初めは1・2匹が、か細く鳴いていたが、半月程経った今は、多くが競って鳴いている。



木炭の上をはい回るスズムシの幼虫

